

彩の国ロードサポート NEWS



彩の国ロードサポートについての情報は、県道路環境課ホームページをご覧ください。

道路環境課ホームページ <http://www.pref.saitama.lg.jp/A08/BF00/index.htm>

編集・発行：埼玉県県土整備部道路環境課 〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3丁目15番1号

TEL 048-830-5103(直通) FAX 048-830-1942

ロードサポートの認定状況

平成17年11月1日現在で

216団体

約13,400人

～ 目 次 ～

- 1. ロードサポート団体の皆様にアンケートを実施いたしました・・・P1
- 2. アンケート結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1

1. ロードサポート団体の皆様にアンケートを実施いたしました

おかげをもちまして、彩の国ロードサポート制度は200以上の団体の方が参加いただく規模となりましたが、一方で、各団体間の日程調整の問題があり、皆様からのご意見を直接伺う機会を作ることが難しくなっていました。

そこで、県では皆様からのご意見を今後活かすために、9月の始めにアンケート調査を実施いたしました。回答いただいた団体の皆様には、ご協力いただき誠にありがとうございました。

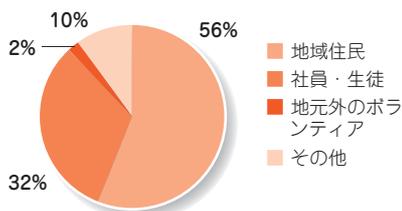
アンケート結果は以下のとおりとなりました。今回の誌面が、皆様の活動の一助となれば幸いです。

2. アンケート結果

◎9月始めまでに認定のあった211団体に調査をお願いして、181団体から回答をいただきました。(回答率85.8%)

1 団体のメンバーはどのような方が中心ですか？

1 メンバーの中心



地域住民の方が6割を占め、企業・学校で活動されている方も3割いらっしゃいます。

これは、現在認定されている団体の、性格別の割合(216団体中、地域団体124、企業・学校74、その他18)とほぼ一致しています。

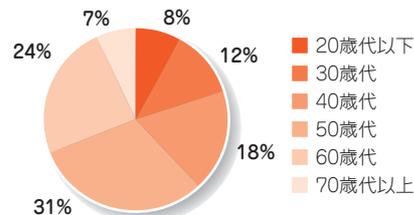
2 団体のメンバーは、主にどの年齢層の方でしょうか？

40代以上の方が全体の8割を占める結果となりました。年齢層別の分布としては、40代

～60代の割合がほぼ均等ですが、最も多いのは50代、次が60代の方で、この年齢層で全体の5割以上を占めています。

20代以下や30代の方は、学校や企業で活動されている方が多いようです。また、70代以上の方々は地域団体のほか、老人会などを通じて活動しておられる方もいらっしゃるようです。

2 メンバーの主な年齢層



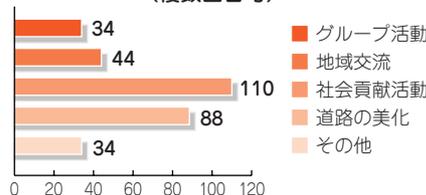
3 彩の国ロードサポートを始めるきっかけは何でしたか？(複数回答可)

社会貢献活動と道路美化への関心が回答の多数を占める結果となりました。団体の中にはロードサポート以前から自発的に活動していた方々もおられるなど、皆様が地域社会への広い関心を持って活動しておられる様子がうかがえます。

また、地域交流・グループ活動などの人と人とのつながりが要因となっている場合も少なくないようです。

このほかには、県土整備事務所や市町村から制度の紹介をうけて、早く活動を開始いただいたという団体もありました。

3 彩の国ロードサポートのきっかけ(複数回答可)



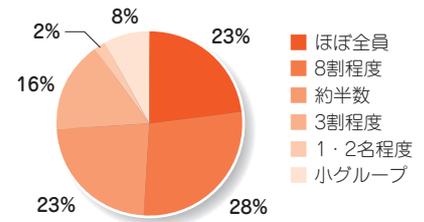
4 メンバーのうち、常に活動している方の割合は？

ほぼ全員が活動している団体は2割程度ですが、メンバーの8割程度が常に活動している団体も合わせると、全体の半数以上を占める結果となりました。

これは、一部の熱心な方だけが活動しているわけではなく、全体で力を合わせて活動している団体が相当数にのぼることを示しています。常時、メンバーの半数が活動している団体を合わせると、全体の7割以上を占めることも、これを裏付けています。

また、団体を小グループに分けて活動を分担しているところも1割程度見受けられますが、これは、学校など、活動人数が多い団体で採られている方法のようです。

4 常に活動している方の割合



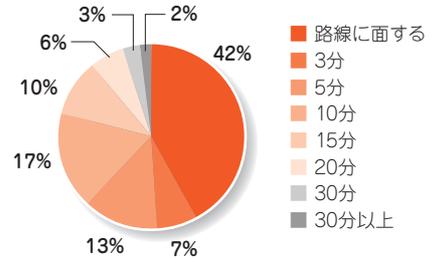
5 メンバーの住居(団体の所在地)は、活動路線に面していますか？

面していない場合は、活動場所への移動に平均どのくらいかかりますか？

活動路線に面しているのは4割にすぎず、6割が活動箇所へ出かけて行かなくてはならないとの回答でした。

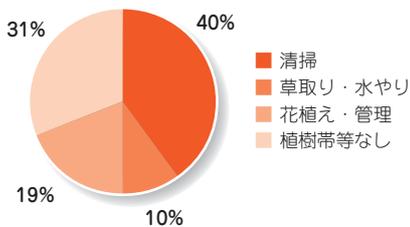
このうち、10分以内に到着できる団体が4割ありましたが、一方で、活動箇所まで15分以上かかっている団体も2割あることが分かりました。さらに、少数ではありますが、活動箇所への到着に30分以上を要している団体もありました。また、質問の項目にはありませんでしたが、移動手段を回答いただいた団体には、自家用車を利用されているところもありました。

5 活動路線までの距離



6 活動場所に植樹帯(植樹マス)はありますか？また、植樹帯(植栽マス)の清掃・管理は行っていますか？

6 植樹帯(植樹マス)の有無・活動



活動箇所に植樹帯や植樹マスのある団体は、全体の7割にのぼりました。

また、4割の団体が植栽での清掃を行っていました。

さらに、より積極的に雑草とりや水やりなどの管理活動に取り組まれている団体が1割あり、花植えまで行っている団体も2割ありました。

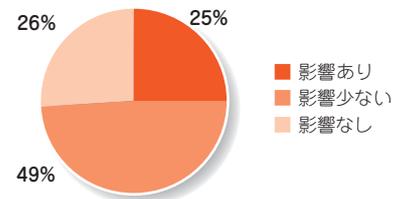
7① 自動車の交通が活動に影響を与えていますか？

影響がないと回答した団体が4分の1を占め、活動への影響は少ないと回答した団体と合わせると全回答の4分の3にのぼります。

しかし、一方では、4分の1が自動車交通の影響があると回答しており、歩道内の活動であっても、自動車の影響は決して小さいものではないことを示しています。

各団体の皆様には、歩道内であっても、車道を通行する自動車にはくれぐれもご注意いただくようお願いいたします。

7① 自動車交通の影響

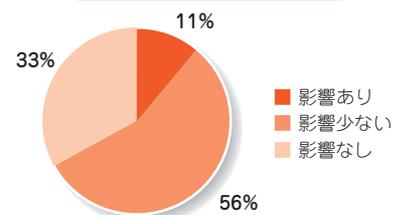


7② 自転車・歩行者の通行が活動に影響を与えていますか？

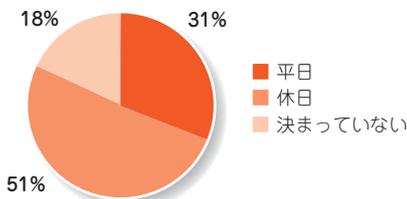
自転車・歩行者の影響については、影響があるとの回答は、全体の1割程度にとどまりました。

自動車に比べると影響が小さいという結果となりましたが、これは後述の活動時間とも関連があるように思います。

7② 自転車・歩行者の影響



8 活動日



8 活動日はいつですか？

5割を超える団体が、土・日などの休日に活動されています。

これは、平日に仕事をされているメンバーが集まりやすい日を選んでいるためだと思われます。

また、平日に活動されている団体が3割ありますが、これは、主に企業や学校の活動日であるようです。

車道での活動や機械を使った作業はご遠慮ください！

制度開始以来、毎年少数ですが活動中の事故について報告をいただいています。

県では、活動中の万一の事故に備えてボランティア保険に加入していますが、体の痛みや心労は、保険で補いきれるものではありません。

サポート団体の皆様には、エンジンやモーターを用いた機械の使用や高所での作業、歩道以外での作業など、危険を伴うと思われる作業は控えていただくようお願いします。

もし、これらの作業が必要と考えられる場合には、必ず県土整備事務所へご相談ください。

また、安全な場所であっても車両通行の監視役の人を置くなど、安全確保に十分な配慮をしていただくようお願いします。

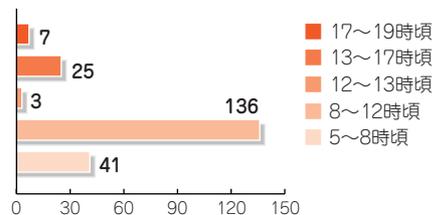
9 活動時間はいつですか？(複数回答可)

午前中(8時~12時頃)の活動が多数を占める結果となりました。

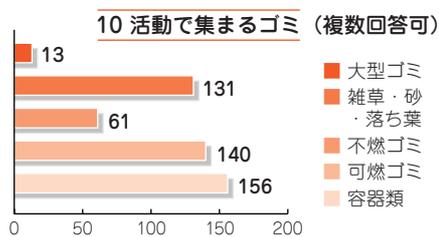
8の活動日も同様ですが、メンバーが集まり、活動しやすい時間として選ばれているようです。

また、7②で自転車・歩行者通行の影響が小さいという結果が出ましたが、比較的自転車や歩行者の通行量が少ない休日の午前中に活動していることが、結果に反映されているのではないかと考えられます。

9 活動時間 (複数回答可)



10 活動で集まるのはどのようなゴミですか？(複数回答可)



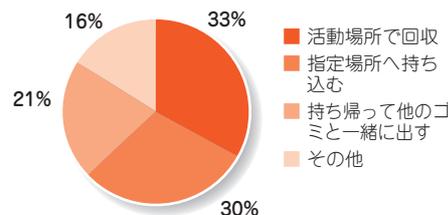
大型ゴミを除く各種のゴミがほぼ均等に集まっているようです。

大型のゴミは少数にとどまりましたが、手間等の面から大型ゴミを回収できない団体もあることを考えると、潜在的にはもう少しあるのではないかと思います。

11 市町村はどのような方法でゴミを回収していますか？

ゴミの回収については、市町村ごとに方式が異なっており、締結した確認書の内容に従って処理をしていただくようになっております。

11 市町村のゴミ回収方法



今回のアンケートでは、活動場所まで回収に来る。という回答が多数でしたが、他の回答についてもほぼ均等に回答が分散しました。

また、そのほかの回答としては、持ち帰って処分業者に出している企業などもありました。

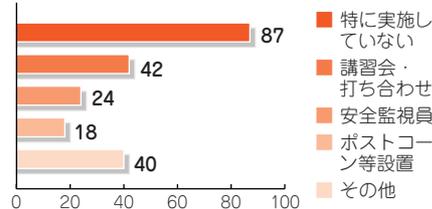
12 活動中にどのような安全対策を行っていますか？(複数回答可)

ポストコーンの設置や安全監視を実施している団体もありましたが、特に安全対策を実施していない団体が半数にのびりました。

活動規模や人数、時間の点で難しいこともあるかと思いますが、活動前の打ち合わせなどはできる限り実施していただければと思います。

また、そのほかの回答としては、県で配布した安全具を活用いただいている団体が目立ちました。

12 安全対策 (複数回答可)



13 県で貸与している安全具(蛍光帽子・ベスト)は着用されていますか？

蛍光帽子・ベストを常に着用していただいている団体は104団体ありました。

安全具は、自転車・歩行者や自動車などに注意を促し、ロードサポートが活動していることを知らせる効果がありますので、ぜひ着用いただくようお願いいたします。

なお、安全具は当初作成した分を配り終え、今年度中に新たに作成する予定でございます。まだ安全具をお渡ししていない団体にはしばらくの間ご不便をかけるかと存じますが、ご了承いただくようよろしくお願いいたします。

14 県で貸与している安全具についての要望

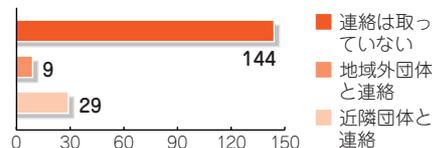
ベストの配布数が足りないとのことご意見を多くいただきました。ベストは、安全監視の方が使用することを想定して、1団体につき3着を配布したところですが、予算の状況もあり、ご要望どおりの対応は困難ですが、できる限りお応えできるよう検討してまいります。

15 他の団体と連絡を取ることがありますか？(複数回答可)

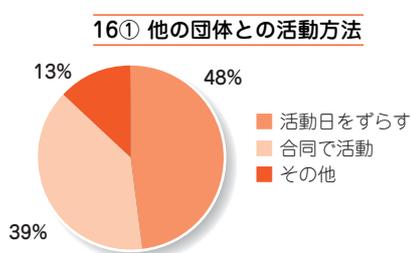
特に他の団体と連絡を取っていない団体が多数を占め、連絡を取っている団体は少数にとどまりました。

また、連絡を取っている団体の中には、ロードサポート以外のボランティア団体等と連絡を取り合っているという回答もありました。

15 他の団体との連絡 (複数回答可)



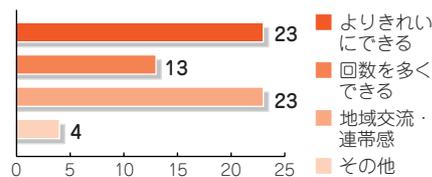
16① 他の団体との活動はどのように行っていますか？



少ない回答数(33団体)でしたが、活動日を互いにずらしているところと、合同で活動しているところがほぼ同じ割合となりました。

そのほか、決まった時期に合同で活動するという回答が目を見ました。

16② 複数の団体で活動するメリットは何ですか？(複数回答可)



16② 複数の団体で活動するメリットは何ですか？(複数回答可)

活動箇所をきれいにできる、清掃回数を多くできるといった実際的な回答とともに、地域交流・連帯感が深まるとの回答も多くいただきました。

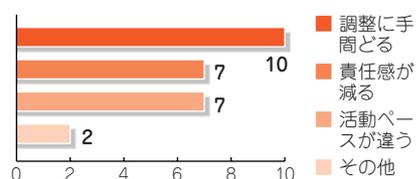
そのほかには、住民の意識高揚、活動にメリハリがつく、活動箇所が多くなるといった回答がありました。

16③ 複数の団体で活動するデメリットは何ですか？(複数回答可)

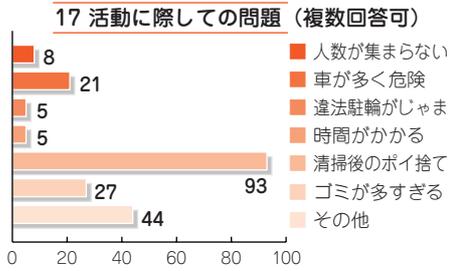
各回答ともほぼ均等の回答数となりました。

ほかには、気を遣ってしまうなどの回答がありましたが、各団体とも特にデメリットは感じていないようでした。

16③ 複数の団体のデメリット (複数回答可)



17 活動に際して、どのような問題を感じますか？(複数回答可)



このほかに地域のつながりが深まったという回答も多くいただいております。ロードサポートが地域のコミュニティづくりに一定の役割を果たしていることがうかがえます。

18 活動によるデメリットにはどのようなものがありますか？(複数回答可)

少数の回答にとどまりましたが、その中で半数（5件）を占めたのが、却ってゴミが増えてしまったとの回答でした。

このほかの回答としては、地域の集積所に活動のごみを出した際に、近隣の方とトラブルになったという団体や、自営業の方で、活動の日程を調整するのに仕事に支障がでてしまうといった回答もありました。

20 現在の活動以外に行ってみたい活動

交通安全の啓発や不法駐輪の防止、地域の防犯活動などの回答がありました。

【県管理道路以外での清掃活動】

県と類似の制度を実施しているところもありますので、国の各国道事務所や各市町村の窓口でご相談ください。

【河川での清掃活動】

河川では“水辺の里親制度”が実施されています。窓口は県土整備事務所になりますのでご相談ください。

なお、県管理道路への花植えをお考えの場合は、お手数ですが、必ず県土整備事務所にご相談ください。

21 県に希望する支援内容

ポイ捨て防止の掲示板設置や制度の積極的なPR、交流会の開催等、多くの貴重なご意見をいただきました。ご意見の中には法令上難しいものもございますが、実施可能なものについては、制度の中に取り入れるべく、前向きに検討してまいりたいと思います。

【花の手入れについてのアドバイス】

下の囲みにある「花と緑の振興センター」で相談を承りますので、お気軽にお問い合わせください。

【除草剤の使用】

県では、環境への配慮から県管理道路では除草剤は使用しておりませんので、各団体の皆様にも、ぜひご配慮いただきますようお願いいたします。

【飲み物の提供】

県では、自主的な道路の清掃美化活動に対して必要な支援を行うという制度の趣旨にのっとり、本来無償の社会奉仕活動であるボランティア活動へ、労働対価と考えられる飲食物の提供は行わないこととしていますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。

最後に、いくつかの団体から、窓口での事務の不手際から時間をとられて不愉快な思いをしたなどの厳しいご意見をいただきました。これらのことにつきましては深くお詫び申し上げます。

県としましては、今後も皆様からのご意見を伺い、彩の国ロードサポート制度の充実に向けて、一層の改善を図ってまいりますのでよろしくお願いいたします。

花壇やプランターで花の世話を手がけている団体の方から、花の育て方などについてのご質問をいただくことがあります。

このようなときは、「埼玉県花と緑の振興センター」へお気軽にご相談ください。

「埼玉県花と緑の振興センター」では、広く県民の方へ緑化に対する関心を深めていただき、緑化に関する知識を高めていただくために、電話や来所による園芸相談や園芸の基礎を学ぶ講座の開設などを行っています。

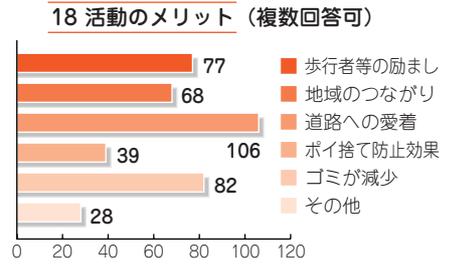
- 所在地：川口市安行1015
- アクセス：東川口駅の南口から、国際興業バス 西川04系統・西川口駅東口行き(慈林経由)で約20分
「花と緑の振興センター」下車徒歩1分
- 電話：048-295-1806(電話での相談時間は午前8時30分～午後5時となっています)
- F A X：048-290-1012
- ホームページ：<http://www.pref.saitama.lg.jp/A06/BQ30/index/ichi.htm>

清掃してもゴミが捨てられてしまうという回答が多数を占めました。

ゴミが多すぎるや車が多く危険といったご意見がこれに続きますが、回答数はごく少数にとどまりました。このほか、雑草が多いとの回答を多くいただきました。

18 活動によるメリットにはどのようなものがありますか？(複数回答可)

道路への愛着が深まった、ゴミが減少した、歩行者等から励まされたの3つが大きなメリットと認識されているようです。



19 活動のデメリット (複数回答可)

